



(1) 「Kandai Vision 150」全体の将来像【テーマ】

- 多様性の時代を、関西大学はいかに生き抜き、先導すべきか
- 【サブテーマ】
  - 教育：変化を続ける社会に、関西大学はいかなる人材を送り出すべきか
  - 研究：学の実質を問われる時代に、関西大学はどんな知を提示できるか
  - 社会貢献：社会貢献の在り方において、「関大らしさ」はどこにあるか
  - 組織運営：より柔軟で堅牢な組織となるために、関西大学はどう変わるべきか

(2) これからの時代に求められる資質・能力

- ▼自ら課題を設定し主体的に解を見出す能力、自らの意見を論理的に発信する力、外国語によるコミュニケーション能力、リベラル・アーツ、多様性を尊重して他者と協働して事業を遂行する能力
- ▼理工系であっても人文社会科学系を含む幅広い分野の科目を学ぶことや、人文社会科学系であっても、先端技術や理数系の基礎的知識を学ぶこと
- ▼質の高い情報を取捨選択し、情報を課題解決のために使いこなす情報活用能力  
(日本経済団体連合会『今後の教育改革に関する基本的考え方』より)

関西大学 2024年度入試のポイント

- 【一般入試】【共通テスト利用入試(併用)】  
2/5・6・7は札幌から沖縄まで全国29都市で受験可能。※2/1～2/4は全国14都市で受験可能。
- 【一般入試】【共通テスト利用入試(併用)】  
1/17(水)まで出願期間を延長。
- 【一般入試】  
外国語学部的一般入試2/5・6・7の2教科型【英語+1教科選択方式】で選考方法を変更。
- 【共通テスト利用入試(併用)】  
【共通テスト利用入試(前期)】  
環境都市工学部の共通テスト利用入試(併用)(前期)で以下の方式を導入。  
<併用>2月2日 4科目型【個別学力検査(数学)】/2月5日 4科目型【個別学力検査(数学または理科)】  
<前期>4科目(数学・理科)型/4科目型

“返還義務のない”関大独自の奨学金!  
「学の実化(じつげ)」  
入学前予約採用型給付奨学金

関西大学では、入学試験の出願前に採用内定が決定する「返還義務のない」給付奨学金制度を実施。同奨学金に申請し、採用内定となった受験生は、一般入試・共通テスト利用入試を受験し、合格・入学することで正式に奨学生として採用されます。  
申請資格を満たせば誰もが採用内定となり、給付金額は、関西圏内からの進学者が年額30万～45万円、関西圏外からの進学者が年額40万～55万円で、原則4年間(継続審査あり)の給付(返還不要)となります。



「実践応用(エキスパートレベル)」では、与えられたさまざまな実践課題に対してデータサイエンス・AI技術を駆使し、新たな知見を獲得する基礎的な技能を習得します。

「実践応用(エキスパートレベル)」では、与えられたさまざまな実践課題に対してデータサイエンス・AI技術を駆使し、新たな知見を獲得する基礎的な技能を習得します。

「実践応用(エキスパートレベル)」では、与えられたさまざまな実践課題に対してデータサイエンス・AI技術を駆使し、新たな知見を獲得する基礎的な技能を習得します。

「実践応用(エキスパートレベル)」では、与えられたさまざまな実践課題に対してデータサイエンス・AI技術を駆使してイノベーションを創出し、世界で活躍できる人材の発掘と育成を図ります。

門分野でのAI・データサイエンス技術の活用事例を各学部の教員がリリース形式で紹介。AI・データサイエンス技術開発にかかわる教員の実

例にも触れ、データの統計学的な取り扱いとAI特有のデータ処理技術に関する知識を身につけます。

「実践基礎(応用基礎レベル)」では、統計学に加え機械学習・深層学習・フuzzy理論などの基礎理論の実践を交えて学習します。さらに社会のあらゆる活動 データ化し、蓄積したビッグデータに対して統計処理技術、AI技術を駆使して新たな知見を獲得する基礎的な技能を習得します。

「実践基礎(応用基礎レベル)」では、統計学に加え機械学習・深層学習・フuzzy理論などの基礎理論を実践を交えて学習。さらに、社会のあらゆる活動をデータ化し、蓄積したビッグデータに対して、統計処理技術、AI技術を駆使して新たな知見を獲得する基礎的な技能を習得します。

「実践基礎(応用基礎レベル)」では、統計学に加え機械学習・深層学習・フuzzy理論などの基礎理論を実践を交えて学習。さらに、社会のあらゆる活動をデータ化し、蓄積したビッグデータに対して、統計処理技術、AI技術を駆使して新たな知見を獲得する基礎的な技能を習得します。



1886(明治19)年に設立された、日本屈指の私立総合大学である関西大学は、「学の実化」を学是に掲げ、今日に至るまで高度化・複雑化が進む社会の課題解決に貢献してきました。

こうした中、関西大学では創立150周年を迎える2036年に向けての将来像を描いたグランドデザイン「Kandai Vision 150」を策定。「考動力」と「革新力」を備えた人材を育成するための大学改革を推進しています。

さらに、Society 5.0時代の喫緊の課題であるAI・データサイエンス分野の人材育成や、2025年に開催される大阪・関西万博のパビリオン参加などの取り組みを通して社会と密につながり、新たな未来の創造を目指します。

# 関西大学

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 入試センター 入試広報グループ TEL 06-6368-1121(大代表)  
https://www.kansai-u.ac.jp/nyusu

## 創立150周年に向け、さらなる発展へ 関西大学が作るImpactで 社会とつながり、新たな未来を創造する

社会が求める高度なスキルを身につける  
「AI・データサイエンス教育プログラム」

現代は「データ駆動型社会」と言われ、ICTなどの進化により爆発的に増えたビッグデータを、AIなどを活用して解析し、さまざまな課題の解決や新たな価値創造につなげることが重要となっています。

こうした中、Society 5.0の実現やSDGsへの貢献として政府が主導する「AI戦略」では、未来への基盤作りとして高等教育への「数理・データサイエンス・AI教育」の導入・推進が目標に掲げられました。

2036年に迎える150周年を見据え策定された「Kandai Vision 150」などを通して、時代を先取りした教育、研究、社会貢献、組織運営を展開してきた関西大学では現在、「関西大学DX推進構想」に基づき、「考動力」や「革新力」を育む教育の実践や、インクルーシブな教育の推進、学修成果の可視化に取り組んでいます。

なかでも、DX人材の育成に関しては、学部におけるデータサイエンス教育・人材育成プログラムを一層推進。また、AIやデータサイエンスの技術は大学生の誰もが有する基礎的なスキルであると捉え、全学生を対象にしたリテラシー教育として、2021年より「AI・データサイエンス教育プログラム」を開講しています。

全13学部の枠を超えて専門的な知識と技術を学び合い、また一人ひとりに寄り添った丁寧な指導によって、学生のさらなる成長を後押しします。

受講した9割の学生が継続した学びを希望! データから社会を知る、専門的な学びを展開

共通教養科目 (全学生対象)	学部専門教育プログラム
<p><b>入門科目(リテラシーレベル)</b></p> <p>さまざまな専門分野におけるAI・データサイエンス技術の活用事例を各学部教員がリリース形式で紹介。AI・データサイエンス技術の開発に関わる教員の実例にも触れ、データの統計学的な取り扱いとAI特有のデータ処理技術に関する知識を身につけます。</p> <p><b>実践基礎(応用基礎レベル)</b></p> <p>統計学に加えて、機械学習・深層学習・フuzzy理論などの基礎理論を実践を交えて学習。さらに、社会のあらゆる活動をデータ化し、蓄積したビッグデータに対して、統計処理技術、AI技術を駆使して新たな知見を獲得する基礎的な技能を習得します。</p> <p><b>実践応用(エキスパートレベル)</b></p> <p>与えられたさまざまな実践課題に対して、データサイエンス・AI技術を駆使してイノベーションを創出し、世界で活躍できる人材の発掘と育成を図ります。</p>	<p>さらに高度なデータサイエンティスト育成のための各学部・研究科独自の教育プログラムも展開しています。</p> <p><b>商学部・商学研究科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●サービス/イノベーション特別プログラム(学部)</li> <li>●商学部AI・データサイエンス教育プログラム(ビジネス応用基礎)(学部)</li> <li>●データサイエンティスト育成プログラム(大学院)</li> </ul> <p><b>システム理工学部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●データサイエンティスト育成プログラム</li> <li>●機械データサイエンス教育プログラム</li> </ul> <p><b>総合情報学部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●データサイエンス教育プログラム</li> <li>●関西大学総合情報学部 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)</li> </ul>